

稲を束ねるのは難しかった 田んぼの学校稲刈り体験



9月26日、鮎貝小学校の5年生31人が田んぼの学校で稲刈り体験を行いました。春に自分たちで植えた稲を刈った児童は、「最初は難しかったけど、慣れると楽しい」と話していました。当日は地元のかたの指導を受けながら、稲刈り、束ね、杭かけまでを行いました。今後、鮎貝小では刈り取ったお米を使っておにぎりを握って食べる予定とのことです。田んぼの学校（約10㍍）はサンファームしらたか西側にあります。

花は心のビタミンです 假屋崎省吾デモ&トークショー



9月23日、あゆ一むで人気華道家假屋崎省吾さんのデモンストレーションとトークショーが行われました。自身の生い立ちや花が持つ力、その素晴らしさなどを語りながら、あっという間に花を生ける姿は圧巻でした。また、假屋崎さんからは「白鷹は桜が有名なんだから、きれいな花が咲き続くように守ってね。そしたら、来年またこちらに来て1本ずつ古木を見て回りたいわ」と、うれしい言葉もいただきました。

たくさん食べてたくさん走る 猫ひろしトークショー



9月17日、若鮎マラソンにゲストランナーとして出場する猫ひろしさんのトークショーがパレス松風で行われ、約100人のファンやランナーが駆け付けました。毎日20kmのトレーニングをしていることや、走り始めたきっかけ、練習法や食生活について話してくれました。時折笑いも交えながらのトークでしたが、走ることについては真剣な表情で、参加した人に伝わりやすく話されているのが印象的でした。

ストレスは笑って快笑しまししょう 建設業労働災害防止大会



9月27日、パレス松風で第14回白鷹町建設業労働災害防止大会が行われました。大会後は、ヒューマンメンタルヘルス研究所の我妻淳一所長が「働き盛りのメンタルヘルス」と題して講演を行い、心のストレスを解消するには、常日頃から笑顔を中心がけることや「笑い、スキンシップ」が重要だと話されました。会場に集まったかたも大声で笑ってみたりお互いに手を合わせているうちに、自然と笑顔になっていました。

白鷹学講座パート③ 地域の歴史・民俗学講座 【高岡編】れぼーと 9/4



「きゅうりを食べてはいけない家がある!？」
そんな「ミステリアス」ともいえるべき高岡地区をめぐるプログラムは、最上川対岸の下山・奥山龍雄氏、地元の名岡源弥氏と「黒滝会」に所属する両名の道先案内により、日頃なら素通りしてしまうような神社や仏閣まで高岡をくまなくまわり、先人が長年にわたって築いてきた歴史や生活、文化を学ぶ一日となりました。
昼食会では、地元・高岡の皆さんの心尽くしの手料理も堪能。もちろん『きゅうり』も美味でした。